

1 沿 革

当地区の開拓は、文治5年(1189年)の藤原泰衡が滅亡した時に本道に逃れて移住した説があること、また建保4年(1216年)に北条氏賊徒を本道に流したことがあり、これらの子孫が当地区に居住したのがはじまりであると伝えられている。

現在の支所所在地に築いた館の館主は、岡部六郎左衛門尉季澄で、この頃からささやかな村が育っていたことが推測される。

天正18年(1590年)に松前藩主蠣崎慶広は、和人地(汐首岬以西)と蝦夷地(同以東)に区画した。

寛政11年(1799年)に幕府の直轄となり、小安および戸井に会所を設けたが、この頃になって和人の移住するものが増え現住民を支配した。

明治3年(1870年)に開拓使が設置され函館支庁の管轄となり、戸井村、小安村を合わせ戸長役場が置かれた。

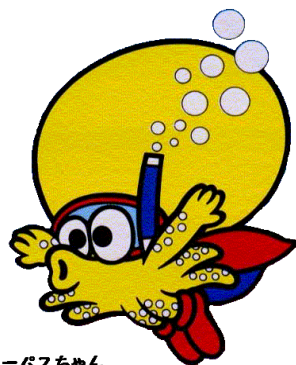
明治35年(1902年)の2級町村制の施行を経て、大正8年(1919年)の1級町村制の施行時はイワシ、マグロの大漁で隆盛を極めたものである。

昭和12年(1937年)に軍需資材や兵員の輸送を目的とした軍用鉄道工事が函館から五稜郭、湯の川を經由して戸井に至る計画で突貫工事として着手されたが、昭和16年(1941年)の太平洋戦争の開戦、資材の不足、地形上の難工事により、昭和18年(1943年)に工事が中止された。

昭和22年(1947年)に地方自治法が公布され、昭和43年(1968年)10月1日に町制施行を行い北海道で156番目の町となったが、自治体を取り巻く社会情勢は、地方分権や少子・高齢化社会の進展など大きく変動しており、財政的にも厳しい中で行政運営を強いられることから、平成16年12月1日に恵山町・楸法華村・南茅部町とともに函館市と合併し、函館市戸井地域として新たにスタートをしたものである。

【戸井地区のあゆみ】

- 昭和43年 町制施行（戸井町），現庁舎新築着手
- 昭和44年 現庁舎新築竣工，町章・町民歌・町音頭制定
- 昭和46年 戸井・大間間フェリー航路開設。戸井・大間両町の姉妹町
締結調印
- 昭和51年 戸井高等学校道立移管
- 昭和53年 開基110年・町制施行10周年記念式典
総合センター落成，歯科診療所開設
- 昭和57年 国道釜谷バイパス開通
- 昭和58年 防災行政無線局開局，各戸に受信機設置
- 昭和60年 町民運動広場オープン，第3種戸井漁港完成，第1種小安
漁港開港
- 昭和63年 開基120年・町制施行20周年記念式典
- 平成元年 戸井簡易水道拡張工事竣工
- 平成6年 デイサービスセンター併設温泉保養センター『ふれあい湯遊館』竣工
「本州北海道連絡橋」大間・戸井ルート誘致推進協議会発足
- 平成8年 国道戸井バイパス開通
- 平成10年 開基130年・町制施行30周年記念式典
- 平成13年 戸井・大間両町の姉妹締結30周年記念式典
戸井町漁業協同組合発足（戸井西部漁協と小安漁協が合併）
- 平成16年 戸井漁業協同組合発足（戸井町漁業協同組合と東戸井漁業
協同組合が合併）
- 平成16年 函館市と合併（12月1日）



トースちゃん

2 人口および世帯数

(1) 地区別 人口・世帯数の推移

(単位：世帯・人)

地区	昭和 28 年 (1953 年)		昭和 40 年 (1965 年)		昭和 56 年 (1981 年)		平成 16 年 (2004 年)	
	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口
原木町	83	520	79	409	86	349	78	216
二見町	26	175	39	220	35	149	25	89
浜町	220	1,387	267	1,340	316	1,160	285	760
館町	82	442	83	343	64	243	52	130
泊町	49	294	44	217	36	155	26	79
弁才町	115	643	114	540	97	371	84	205
瀬田来町	97	701	112	643	115	517	102	344
汐首町	117	744	110	593	110	486	102	317
釜谷町	187	1,251	192	1,093	193	904	266	693
小安町	288	1,910	267	1,382	301	1,252	357	1,019
計	1,264	8,067	1,307	6,780	1,353	5,586	1,377	3,852

地区	平成 17 年 (2005 年)		平成 20 年 (2008 年)		平成 21 年 (2009 年)		平成 22 年 (2010 年)	
	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口
原木町	76	207	76	182	77	176	77	172
二見町	26	89	30	88	30	82	29	73
浜町	282	755	275	665	275	641	275	626
館町	48	116	50	107	47	105	49	108
泊町	27	77	25	68	25	67	25	64
弁才町	81	200	80	194	78	183	78	176
瀬田来町	104	341	107	321	107	313	104	303
汐首町	102	310	101	279	100	264	102	259
釜谷町	262	676	271	635	277	633	278	614
小安町	353	993	372	372	380	976	381	950
計	1,361	3,764	1,387	3,521	1,396	3,440	1,398	3,345

地区	平成 23 年 (2011 年)		平成 24 年 (2012 年)		平成 25 年 (2013 年)		平成 26 年 (2014 年)	
	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口
原木町	73	164	73	160	77	162	75	150
新二見町	29	71	28	67	27	63	29	62
浜町	271	602	274	582	269	557	259	543
館町	49	105	49	105	47	102	48	98
泊町	25	61	25	59	24	55	23	54
弁才町	73	170	73	163	74	155	76	156
瀬田来町	104	296	104	291	106	282	103	278
汐首町	98	253	98	242	95	234	96	222
釜谷町	283	601	283	590	283	556	277	537
小安町	382	923	382	911	375	888	382	862
計	1,389	3,246	1,389	3,170	1,377	3,054	1,368	2,962

資料：各年 3 月末現在の住民基本台帳による

(2) 人口動態

(単位：人)

元 号	西 曆	自然動態			社会動態			増減計
		出生	死亡	増減	転入	転出	増減	
昭和 40 年度	1965 年	112	44	68	159	286	▲127	▲59
昭和 45 年度	1970 年	96	46	50	199	382	▲183	▲133
昭和 52 年度	1977 年	74	48	26	238	345	▲107	▲81
昭和 57 年度	1982 年	72	51	21	251	274	▲23	▲2
平成 3 年度	1991 年	37	41	▲4	148	241	▲93	▲97
平成 10 年度	1998 年	30	59	▲29	142	171	▲29	▲58
平成 15 年度	2003 年	22	48	▲26	124	147	▲23	▲49
平成 16 年度	2004 年	22	54	▲32	118	174	▲56	▲88
平成 17 年度	2005 年	15	51	▲36	90	158	▲68	▲104
平成 20 年度	2008 年	19	45	▲26	85	140	▲55	▲81
平成 21 年度	2009 年	9	60	▲51	80	124	▲44	▲95
平成 22 年度	2010 年	11	59	▲48	85	136	▲51	▲99
平成 23 年度	2011 年	14	61	▲47	94	123	▲29	▲76
平成 24 年度	2012 年	11	69	▲58	82	140	▲58	▲116
平成 25 年度	2013 年	9	55	▲46	82	128	▲46	▲92

※ 市町村合併により平成 16 年度以降のデータは、転入、転出に戸井地区と市内他地区の転居も含む。

(3) 年齢別人口の推移

(単位：人)

元 号	西 曆	年少人口 (0～14 歳)		生産年齢人口 (15～64 歳)		老年人口 (65 歳以上)	
			割合		割合		割合
平成 10 年	1998 年	541	12.9	2,707	64.6	943	22.5
平成 15 年	2003 年	444	11.4	2,367	60.7	1,090	27.9
平成 20 年	2008 年	358	10.2	2,036	57.8	1,127	32.0
平成 24 年	2012 年	279	8.8	1,779	56.1	1,112	35.1
平成 25 年	2013 年	239	7.0	1,689	55.3	1,126	36.9
平成 26 年	2014 年	213	7.2	1,588	53.6	1,161	39.2

資料：各年 3 月末現在の住民基本台帳による。

(4) 国勢調査における人口および世帯数の推移(各年 10 月)

(単位：人)

元 号	西 曆	人 口				世帯数	比 較
		男	女	合 計	比 較		
昭和 30 年	1955 年	4,085	3,956	8,041	—	1,291	—
昭和 35 年	1960 年	3,829	3,585	7,414	▲7.8%	1,299	0.6%
昭和 40 年	1965 年	3,466	3,314	6,780	▲8.6%	1,307	0.6%
昭和 45 年	1970 年	3,382	3,249	6,631	▲2.2%	1,325	1.4%
昭和 50 年	1975 年	2,895	2,838	5,733	▲13.5%	1,333	0.6%
昭和 55 年	1980 年	2,674	2,779	5,453	▲4.9%	1,370	2.8%
昭和 60 年	1985 年	2,520	2,644	5,164	▲5.3%	1,317	▲3.9%
平成 2 年	1990 年	2,241	2,436	4,677	▲9.4%	1,283	▲2.6%
平成 7 年	1995 年	2,012	2,215	4,227	▲9.6%	1,273	▲0.8%
平成 12 年	2000 年	1,831	2,062	3,893	▲7.9%	1,263	▲0.8%
平成 17 年	2005 年	1,641	1,855	3,496	▲10.2%	1,225	▲3.0%
平成 22 年	2010 年	1,449	1,679	3,128	▲10.5%	1,163	▲5.1%